

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO



創 立：1980年(昭和55年)11月10日
 会 長：泉 憲一
 幹 事：亀井 直人
 副幹事：山回 哲司
 例 会 日：毎週木曜日PM12:30～
 会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
 T E L：052-211-3803
 F A X：052-211-2623
 M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1612回例会

～会員増強及び拡大月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2013年8月29日(木) 晴 第8回

司 会：関谷俊征会場副委員長

会長挨拶

泉憲一 会長

みなさん、こんにちは。先週は80歳でエベレスト登頂に成功された、冒険家でプロスキーヤーの三浦雄一郎さんの話をしました。今日はそのご家族についてお話ししたいと思います。



三浦さんのご家族は親子3世代にわたって有名なスキーヤーです。長男の雄大さんは元ナショナルチームのアルペンスキー選手、二男の豪太さんはリレハンメルオリンピックと長野オリンピックに出場したフリースタイルのモーグルスキー選手でした。父親の敬三さんは世界でもトップレベルのスキーヤーであり、山岳カメラマンでした。

父親の敬三さんは大学在学中からスキーに魅せられ、卒業後、農林省勤めをしながら全日本スキー連盟委員を務めたこともありました。本格的にスキーを始めたのは農林省を早期退職した51歳からでした。普通なら仕事やスポーツを引退する年齢から、新しい挑戦を始めたこととなります。三浦さんは幼い頃からよくスキーに連れて行ってもらいましたが、肝心のスキーは全然教えてもらえず、父親が山岳雑誌に投稿した文章と、滑る姿を見て学んだそうです。

一方、母親は祖父が衆議院議員や青森県会議長などを務めた小泉辰之助氏という、裕福な家庭で育ちました。しかし子供からみてもあきれほど家事がダメで、代わりに脳天気な性格で常にプラス思考だったそうです。受験に失敗した時も「来年どうするの?」とは一言もなく、逆に「失敗した方が大物になれる。俳優でも歌手でも何だって仕事はいっぱいある。大学にいけばかりが人生じゃない」と言っていたそうです。

でもよく考えたら自分は脚が短いから俳優になれないし、音痴だから歌手も無理。かえって勉強しかないと考えたそうです。父親はあいかわらず何も言わず、この親たちは一体何を考えてるんだろうと思ったそうですが、もしダメなら違うことをやれば良いと思うと、気持ちちは楽だったそうです。

三浦さんが最も思い出深いのは、父親の敬三さんが99歳の時に親子3世代でフランスの名峰モンブランの氷河を滑ったことです。危険な場所がたくさんありましたが、みんなで滑りきりました。ホテルに帰った後、父親は「今生の別れのつもりで滑った。これができたら死んでもいい」と言ったそうです。

敬三さんは50歳で退職し、還暦を過ぎてから海外でのスキー滑走を始め、70歳でエベレスト、77歳でキリマンジャロ、88歳でアルプス完全縦走、99歳でモンブランの氷河滑走と、古希、喜寿、米寿、白寿という年齢の節目で自らの目標を達成しています。そして今から7年前、101歳で亡くなりました。

三浦さんは、「おやじの生きざまが自分にとって一番の教え。100

歳まで自分の好きなスキーを楽しみながら続けたこと。僕が80歳でエベレスト登頂に挑戦したのも、そんな親の姿があつてこそ。できない口実はいくらでもあるけれど、可能性にすべてをかけるというおやじの生きざまを僕もしたいですね。」とおっしゃられました。

三浦さんはエベレスト登頂前の体力測定では、80歳にして40代の筋力があり、骨密度も20代の数値が出ました。その理由はスキーを滑る時にかかる足腰へのふんばる力が、筋力となって付いているからです。父親の敬三さんから受け継いだのは生き様だけでなく、屈強な身体やトレーニング法、食事法など全ての面において受け継がれたのだと思います。

目標を達成するために総合的な健康法を実践され強い精神力を養われた背景には、この家族だからこそ三浦さんの偉業がありと、つくづく思いました。

出席報告

広瀬弘幸 出席委員

会員63名 出席43名 (出席計算人数46名)

出席率 80.1%

8月22日は補填により92.2%

幹事報告

亀井直人 幹事

- ・次週9月4日(水)12:30より名古屋マリオットホテル16階「タワーズボールルーム」にてガバナー訪問です。
- ・9月5日(木)は振替により休会です。

ニコボックス

広瀬弘幸 ニコボックス委員

- ・8月24日のグルメ会で、多くの会員の皆様に励ましのお言葉を頂戴し、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。花束まで頂戴し、恐縮しております。貴クラブの益々のご発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。 **増田 盛英さん**
- ・昨日は日本シニアオープンCブロック予選を愛岐カントリークラブで開催し、無事終了することができました。結果は150名参加し、72ストローク14名が予選通過しました。又、昨日荘川高原カントリークラブでフェスティバルを行い145名参加して頂きました。名古屋瑞穂RCの会員の皆さんにも多数参加いただきました。有難うございました。 **泉 憲一さん**
- ・先日、日本JCじゃがいもクラブ全日本選手権で、三好カントリー様には大変お世話になりました。泉会長、ありがとうございます。又、高村先輩おつかれ様でした。 **山口 哲司さん**
- ・グルメ会を当店で開催頂き、ありがとうございました。皆さんの飲みっぷりと食べっぷりに圧倒されました。次回はぜひ参加したいと思っています。 **佐治 寛行さん**
- ・佐治さん先日はおいしいお料理ありがとうございました。 **鈴木 淑久さん**
- ・ホームクラブの欠席が続きました。 **遠山 堯郎さん**
- ・朝晩少し涼しくなりクーラー無しで寝られています。助かります。 **長坂 邦雄さん**
- ・残暑お見舞い申し上げます。 **湯澤 信雄さん 内田 久利さん**

同好会PR

スキューバ・ダイビングクラブ

スキューバ・ダイビングクラブは13、4年前に森恒夫会長のもと、作られました。その時から残っているメンバーは森さん、内田さん、



高須さん、私松波です。当時は、パラオやサイパンに行きました。また、みなさんの家族や前の事務員の井上さんも一緒にバスで若狭湾へ行った思い出もあります。昨年度、再開することになり、ダイビングをしたいという泉さんの強い

希望もあり沖縄へ行って参りました。

今年の7月は石垣島へ行き、4畳半の広さがある鬼糸巻エィ、つまりマンタを見ることができました。大変楽しいクラブです。泉さんは64歳、岩田修司さんも65歳で初めてダイビングに挑戦されました。これは歳をとってからも出来る証拠だと思えます。

今後はまた沖縄やパラオでの実施も考えておりますので、ご家族もご一緒にご参加をお待ちしています。

スキー同好会

初めまして、スキー同好会です。昨年は松波直前会長の肝いりで出来たばかりの同好会で、会長に馬場さん、顧問に松波直前会長と岩田会長エレクトを迎え、他、若手で構成されています。これだけのメンバーが居ながら、今までスキー同好会がなかったことを不思議に思っています。



私がイニシエーションスピーチをした後、いろんな方がスキー経験をお話し下さり、スキーを好きな方が大勢居ることが分かり話が進んでいきました。湯澤信雄さんが幹事をお務めになって下さりましたので無事に

会が発足されました。

今後の計画として、近場にスキー場が沢山ありますが、スキーの出来ない方でも楽しめる様に温泉があるような所とを考えております。例えば、野沢温泉は外湯が13箇所もあり、楽しんで頂けると思います。本格的にスキーがしたければ八方尾根には沢山コブ斜面がございます。まだ始めたばかりの方であれば梅池高原へ行けば鐘のなる丘という平らな初心者向けのコースもあります。さらに皆さんの希望があれば志賀高原へスキーツアーへ行き、石の湯や一の瀬ダイヤモンドスキー場を巡っていく等、色んな楽しみ方が出来ます。

馬場会長に方針を聞いたところ、札幌手稲RCと合同でスキーをするという少し大きな話になってしまったのでとりあえず今は抑えていただきましたが、北海道に国内友好クラブがあるので、ゆくゆくはスキーを通じて冬の交流も可能だと思っています。

来年の1月から春先の間に第1回目のツアーを考えていますので、改めてご案内いたします。まだ会員も少ないのでお時間のある方はぜひ参加を宜しくお願い致します。ありがとうございました。

カラオケ同好会

カラオケ同好会会長の近藤です。私や関谷さん、湯澤勇生さんのカラオケ好きが高じ、松波直前会長や岩田修司さんの後押しもあり出来たばかりの同好会です。名誉顧問は野崎さん、名誉会長は岩田修司さん、世話役は関谷さんというメンバーで企画、運営しております。



記念すべき第1回目は4月に瓦町

木曾路で行いました。皆さん持ち歌を披露し盛り上がり、和気あいあいと楽しみました。

会員同士が歌を通じてもっと仲良くなればと思います。関谷さんと色々構想を練っていますが、第2回目は10月3日を予定しています。面白い会ですの皆様是非ご入会ください。宜しくお願い致します。

例会写真



国際ロータリーニュース

2015-16 年度会長にラビンドラン氏

コロombo・ロータリークラブ(スリランカ)の会員、K.R. "ラビ" ラビンドラン氏が、指名委員会により2015-16年度国際ロータリー会長に選出されました。10月1日までに対抗候補者が出ない限り、ラビンドラン氏が会長ノミニーとなります。

会員増強がロータリーにおける最優先課題であると考えらるラビンドラン氏は、「会員増強を図る上で、今後も若い世代を重視するとともに、経験豊富な退職者にも入会してもらわなくてはなりません。一つの方法で、世界中の会員問題に対処することはできないという認識に立ち、地域別の会員増強計画を立てたのは適切であると思えます」と述べています。

ラビンドラン氏はさらに、「アルバート・アインシュタインが『同じことを繰り返しながら、違う結果を望むことを、狂気という』と言ったように、ロータリーの従来の方法は、良い結果を生みませんでした。今回の地域別会員増強計画で、世界が22の地域に分けられ、それぞれの地域にあった計画が実行されていることをうれしく思っています」と述べました。「ロータリーが与えてきたインパクトを人々に理解してもらえよう、ロータリアンが、特にソーシャルメディアを通じて、一貫性のあるかたちで、ロータリー・ストーリーを伝えていかなければなりません」と、ラビンドラン氏。「私たちのアイデンティティは、シンプルで、ロータリーの中核となる価値観に基づいたものであり、しかも、ロータリアン以外にも分かりやすいものでなければなりません」と述べています。

例会のご案内

- 今週の行事 9月4日(水) ガバナー訪問
場 所：名古屋マリオットアソシアホテル16階
タワーズボールルーム
時 間：12:30～13:30
- 9月5日(木) 振替のため休会
- 次々週卓話 9月12日(木)
卓話講師：2008年4月～2009年3月米山奨学生
楊 麗娟さん
内 容：ロータリーとの縁